

■平成 29 年 6 月 26 日号 (第 1551 号)

- ・港湾局 AI ターミナル構想実現へ＝コンテナ戦略港湾、世界最高水準の生産性目指す
- ・港湾局 クルーズ受入高度化事業採択＝24 港 29 地区の整備補助
- ・国交省 コンテナ戦略推進委開催＝取組方策、アジアシャトル航路等
- ・国連海洋会議 保全・持続可能な利用へ＝笹川平和財団が参加
- ・国交省 建設産業女性活躍推進会議＝事例踏まえ意見交換
- ・SCOPE 研究開発助成報告会＝8 件の成果内容発表
- ・国交省 建設産業政策の方向性＝制度インフラ再構築
- ・酒田港 水深 14m 岸壁の延伸整備＝高砂ふ頭、本体工とクレーン基礎
- ・木更津港 外港クルーズ船誘致へ＝市が取組、航行安全対策検討
- ・稚内空港 今年度に切・盛土など＝滑走路端安全区域整備
- ・名古屋港 中空沖の土砂処分場確保＝アセス準備書へ手続き進む
- ・高知港 三里地区防波堤・東第一＝先端 3 函の築造工事調達
- ・四日市港 富双水路横断部連結＝桁の海上架設見学会
- ・本部港 クルーズ岸壁設計進む＝来年度に本体の着工へ
- ・日本財団・リバナス 海底地形図作成へ研究助成＝海底探査の技術革新目指す
- ・作業船協会 第 69 回定時総会を開催＝生産性革命等に対応を
- ・港荷協 第 62 回定時総会開催＝荷役機械システムの向上へ
- ・港技コンサル協 第 6 回定期総会を開催＝エンジニアの役割高まる
- ・CDM 研究会 第 40 回通常総会を開催＝目黒教授、40 周年記念講演会も
- ・東洋建設 本部安全衛生推進大会＝凡時徹底、安全の誓い立てる
- ・12 府県 海洋エネ資源日本海連合＝表層 MH 予算を要望
- ・9500kW 洋上風車＝MH ヴェスタス

■平成 29 年 6 月 19 日号 (第 1550 号)

- ・港湾分科会 基本方針の変更審議＝7 月告示、クルーズ受入促進
- ・港湾局 CT への AI 活用など検討＝荷役システム高度化
- ・PSAJ 湘南港で実証実験＝マリーナバリアフリー化
- ・国交省 北極海航路官民連携協＝LNG 輸送等の情報共有
- ・JICA 港湾開発・計画コース＝15 カ国 18 名が参加
- ・東京湾海の環境再生賞＝みなと総研、創設募集
- ・港湾技術振興会 29 年度定時総会開催＝片田教授ら招き講演
- ・土木学会 大石会長が就任会見＝委員会、懇談会等設置
- ・東京港 地盤改良と底面深堀工事＝新海面、Dブロックを重点整備
- ・千葉港 栄水門等は来年度以降＝葛南地区、海岸の高潮対策事業
- ・仙台塩釜港 海上地盤改良を促進＝定山地区水深 9 m 岸壁

- ・神戸港 暫定水深5mを確保へ＝六甲アイランドP I 2期、浚渫工事2件を追加
- ・佐世保港 浦頭地区、協定手続きへ＝三浦地区は延長工事促進
- ・東予港 岸壁築造その2手続き＝来年半ばの供用見通し
- ・埋浚協会 28年度埋立浚渫土量実績＝海外受注現況もまとめ
- ・底質浄化協 29年度定時総会を開催＝環境ニーズに対応を
- ・JAMSTEC等 房総沖にコバルトリッチ＝技術開発促進へ期待
- ・港湾協会・京大ら 産学官共同研究報告会＝港湾物流、BCP等
- ・JOPCA 第25回総会を開催＝交流活動を更に強化
- ・土木学会 第103回定時総会開催＝土木の意義・意味、共有を
- ・消波根固協 通常総会を開催＝50周年記念懇談会も

■平成29年6月12日号(第1549号)

- ・リサイクルポート 15年ぶりに大幅改革＝循環資源取扱拡大へ新施策
- ・楡形鋼矢板工法が具体化＝低コスト・工期短縮、コンビナート液状化対策
- ・航空局 インフラ国際展開協議会＝案件発掘へ新WG設置
- ・国交省・ベトナム 港湾技術基準の策定協力＝覚書署名、新規5項目
- ・国交省 2016年クルーズ(確報)＝寄港回数、訪日旅客数等
- ・CNAC 29年度総会、講演会＝海辺の環境教育拡大へ
- ・国交省 第2回濱口梧陵国際賞＝募集、8月受章者決定
- ・横浜港 市が陸上地盤改良工3件＝南本牧MCターミナル先行
- ・新潟港 北護岸ケーソン2函製作＝西港の航路泊地附帯施設
- ・苫小牧港 西港区多目的バース＝市が30年度重点要望
- ・水島港 穀物バルク公共岸壁整備＝玉島地区水深12m、栈橋方式で実施へ
- ・名古屋港 飛島ふ頭再編事業着工＝式典開催、水深15m耐震強化岸壁
- ・四国地整 港湾関係災害協定団体等＝応急対策、意見交換会を開催
- ・八幡浜港 フェリーふ頭の再整備＝工費、工期を見直し
- ・北陸地整 港湾管理者等連絡会議＝29年度港湾整備事業等
- ・リサイクルポート推進協 29年度総会を開催＝新たな要請へ取組強化
- ・リサイクルポート推進協 港湾の中長期政策＝石橋企画室長が講演
- ・港湾PC研究会 28年度定時総会を開催＝港湾分野技術研鑽、PC施工拡大に期待
- ・ウォーターフロント協会 第27回定時総会開催＝賑わいづくりへ役割高まる
- ・海洋調査会 29年度定時社員総会＝ICTでノウハウ活用
- ・海産研 29年度定時総会を開催＝分野横断的な取組推進
- ・東洋建設 関東・関東建築支店安全衛生推進大会＝危険予知、全員周知を
- ・三井造船 ミャンマー向け発注＝港湾荷役クレーン8基

■平成 29 年 6 月 5 日号 (第 1548 号)

- ・改正港湾法が成立＝クルーズ拠点、災害時管理
- ・政府 インフラ輸出戦略を策定＝最上流段階から積極関与
- ・名古屋港・四日市港 伊勢湾の運営会社指定へ＝両管理組合が新会社設立
- ・港湾協会 港湾政策研究所講演会＝神戸開港 150 年の歩みと今後
- ・港湾整備 6 市町が意見要望、提案
- ・港湾協会賞表彰＝技術省、企画賞等
- ・O C D I 国際港湾運営研を設置＝支援業務、調査研究等
- ・GPS 機構 第 12 回通常総会開催＝生産性革命に重要な役割
- ・酒田港 コンテナターミナル造成設計など＝山形県、荷役機械更新も着手
- ・新潟港 砂止堤築造の手続き＝西海岸地区侵食対策
- ・舞鶴港 第 2 ふ頭にドルフィン＝クルーズ対応仮設物設置、航行安全対策検討へ
- ・大分港海岸 実施設計に 500m 予定＝「楕形鋼矢板工法」導入
- ・高知港海岸 津波防波堤の素案作りへ＝確実性や効果など基本に
- ・J W P A 洋上風車の撤去課題等＝成果発表会、工事船舶一括管理を提案
- ・運輸総研 加藤主任研究員が報告＝モーダルシフトの期待
- ・潜水協会 第 45 回定時総会を開催＝担い手育成へ邁進
- ・R S O 第 18 回通常総会＝7 テーマの研究会設置
- ・みなと博物館 NW フォーラム総会＝全国で連携、情報共有
- ・みなと総研 未来のみなとづくり助成＝成果報告会を開催
- ・マリーナ・ビーチ協 第 44 回総会開催＝会員拡大へ定款変更
- ・晴海客船ターミナル クルーズスタイル開催＝市場拡大へ、12,000 人来場
- ・東亜建設 中期経営計画策定＝信頼回復、成長
- ・北極海航路の活用検討＝北海道、拠点機能など

■平成 29 年 5 月 29 日号 (第 1547 号)

- ・港湾協会 神戸市で 29 年度定時総会＝国際競争力強化、クルーズの受入れ、施策の充実強化へ
- ・埋浚協会 29 年度定時総会を開催＝生産性向上、担い手確保を
- ・国交省 農水産物輸出促進計画を認定＝全国初、北海道の 6 港湾連携
- ・港湾局 港湾技術基準の改定＝30 年度施行へ作業進捗
- ・港湾局 みなとオアシス須磨＝全国で 95 箇所目登録
- ・東京港 新客船ふ頭 2 バース体制＝軽易変更、東京都港湾審で了承
- ・伏富港 1 工区撤去と捨石工＝富山地区 2 号岸壁改良
- ・千葉港湾 東京湾護岸前面活用＝浚渫土をリサイクル
- ・鹿児島港 橋梁部の詳細設計開始＝臨港道鴨池中央港区線

- ・清水港 富士見ふ頭の予防保全＝附帯工事、セメント受入設備移設
- ・呉港 広多賀谷地区岸壁改良＝中国地整ら着工式典開催
- ・エネ庁 海域の資源開発を促進＝MH、熱水鉱床、コバルトリッチなど
- ・京浜港ドック 実証試験 2 テーマ選定＝関東地整、岸壁の増深工法等
- ・岩手県 海洋エネ産業創出ビジョン＝3 地域の取組みを推進
- ・NETIS 推奨技術など9件選定＝国交省、専用サイトを開設
- ・東京都 海岸保全計画を改定＝伊豆小笠原諸島沿岸
- ・港空研 国際緊急救助隊の派遣＝スリランカ、処分場崩落事件
- ・経産省 再エネ研究会＝大量導入の課題
- ・港湾協力団体 みなとオアシス紋別＝指定書の交付式実施
- ・むつ小笠原港洋上風力＝グリーンファイナンス推進協が出資
- ・阿字ヶ浦海岸 常陸那珂港区の見学等＝里海げんき市場開催
- ・東洋建設 建築施工技術発表会＝ICT活用工事など

■平成 29 年 5 月 22 日号（第 1546 号）

- ・羽田空港 機能拡充へ整備促進＝新飛行経路対応策実施、基盤施設や誘導路
- ・土木学会 28 年度土木学会賞決定＝功績賞に金澤氏、善氏、高山氏ら
- ・みなと総研フォーラム開催＝クルーズ等テーマに講演
- ・沿岸センター 港湾関連民間技術＝28 年度下期評価証交付
- ・APEC 港湾・海事専門家会合＝域内の連結性強化へ
- ・先導的官民連携支援＝国交省、18 事業採択
- ・敦賀港 岸壁延伸で埋立免許手続き＝鞠山南地区国際物流ターミナル整備事業
- ・東京湾口事務所 浚渫に向け調査設計＝東京湾中央航路整備
- ・仙台塩釜港 本体製作と地盤改良＝石巻港区南防波堤
- ・境港 外港竹内南岸壁の設計等＝大型クルーズ船にも対応
- ・姫路港 次期改訂に向け作業中＝播磨地区、リニューアルを検討
- ・高知港海岸 直轄整備事業着工式典＝三重防護の取組み促進
- ・関東地整 28 年度実証試験結果報告＝京浜ドック活用の新技術成果
- ・紋別港 市が港湾協力団体指定＝みなとオアシス運営協
- ・福岡空港 民間委託へ公募開始＝9 月に一次審査結果
- ・海技協 第 31 回総会を開催＝更なる技術向上目指す
- ・中部空港 2017 年 3 月期決算＝7 期連続の黒字達成
- ・新潟沖 洋上風力ポテンシャル＝賦存量 6.8 万 GWh
- ・大林組 水中構造物点検ロボ開発＝「ダイアグ」洋上風車等に活用
- ・五洋建設 中期経営計画を策定＝緩やかな事業拡大を
- ・国交省 新規研究課題 4 件採択＝業務委託、海洋点検技術など

- ・潜水士が人命救助＝衣浦港でヨット高校生
- ・建設産業の生産性向上＝国交省、支援案件公募

■平成 29 年 5 月 15 日号（第 1545 号）

- ・港湾局 作業船の LNG 燃料化検討＝国有船で先導、設計条件等まとめ
- ・日港連 第 34 回通常総会を開催＝生産性向上、適切な利潤確保を
- ・石井大臣 カンボジア等を訪問＝シハヌークビル港新 CT 整備協力を
- ・港湾局 クルーズ施設規模検討＝1 日滞在型拠点等も
- ・中国地整 瀬戸内クルーズ活性化＝第 3 回検討会を開催
- ・クルーズ寄港おもてなし＝港湾局、モデル構築検討
- ・国総研 高潮リスク、長寿命化等＝29 年度重点研究テーマ
- ・秋田港 クルーズ船利便施設整備＝受入環境整備事業、大型船航行安全調査も
- ・八戸港 WTO で C 護岸に着工、市川地区、航路泊地附帯施設
- ・東京港 品川内貿ふ頭岸壁＝3 バース目の地盤改良
- ・水島港 国際物流ターミナルに今年度着工＝ジャケット構造など有力
- ・名古屋港 飛島ふ頭東岸壁再編＝水深 15m 耐震改良、その 2 工事を手続きへ
- ・福岡空港 増設滑走路誘導路新設＝空港運用時の機能拡充
- ・エネ庁 砂層型 MH 海洋産出開始＝第 2 回、商業化へ連続生産試験
- ・レノバ 秋田県沖で洋上風力事業＝配慮書縦覧、38 年度運転開始へ
- ・北九州港 洋上風力で SPC 設立＝響灘地区、34 年度着工
- ・酒田港国際ターミナル岸壁着工＝150m 延伸、機能強化
- ・全浚 第 46 回通常総会を開催＝クラブ浚渫工の課題対応
- ・三井造船 機械式波力発電装置＝神津島沖で実証試験
- ・JICA トンガ風力発電整備＝無償資金協力 21 億円
- ・ビーチゲームズフェス開催＝お台場、スポーツ体験、公式戦等
- ・国交省 インフラメンテ大賞＝漁港施設点検システム等
- ・革新的造船技術等 10 件＝海事局、研究開発支援

■平成 29 年 5 月 1 日・8 日合併号（第 1544 号）

- ・港湾局 洋上風力導入へ審査基準＝公募占用制度、今年度策定、参考指針も
- ・港湾局 ICT 浚渫工を初適用＝3 次元で測量～納品へ
- ・春の叙勲 金澤氏、布施谷氏が瑞中＝瑞小に鈴木（雄）、園山、西島の 3 氏
- ・みなと総研 クルーズ総研を設立＝港湾管理者等取組支援
- ・ピア研 第 1 回フォーラム開催＝ストック活用、港湾空間づくり
- ・福岡市 ウォーターフロントシンポを開催＝クルーズ船見学等も
- ・WF 協会 「みなとオアシス」ハンドブック＝支援制度等を解説、事例紹介

- ・東北港湾クルーズ振興＝官民連携で寄港拡大へ
- ・東京港 ジャケット式岸壁に着工＝13号地新客船ふ頭整備事業
- ・千葉港 航路浚渫や防泥柵等＝葛南中央29年度事業
- ・仙台塩釜港 水深14m岸壁の設計＝仙台港区ふ頭再編事業
- ・神戸港 航路附帯施設の護岸築造＝揚土方式に対応し嵩上げ
- ・平良港 次期改訂へ構想作業＝クルーズ船やマリナー
- ・佐伯港 女島水深14m岸壁延伸＝ジャケット構造で整備に
- ・海底熱水鉱床 世界初の採鉱・揚鉱試験実施へ＝エネ庁、今夏以降に沖縄海域で
- ・佐賀県 海洋エネの検討推進＝拠点港の可能性、誘致
- ・28年度 地盤工学会賞10件決定＝技術開発賞に津波対策の防波堤腹付工等
- ・港湾局 みなとオアシス久礼＝全国で94箇所目登録
- ・円借款 アビジャン港穀物バース＝STEP、12月入札
- ・中部電力 ドイツ海底送電事業＝運営保守、洋上風力向け、参画
- ・自然エネルギー財団＝利用拡大に向け提案取りまとめ
- ・国交省・厚労省 建設業人材確保・育成＝29年度重点施策など

■平成29年4月24日号（第1543号）

- ・港湾局 日本海沿岸の航路拡充へ＝東南アジア貨物、現代版「北前船」構想
- ・埋浚協会 工事安全特別講習会開催＝丹羽氏、安全はトップの生き方
- ・日ロシア 極東港湾の高度化プロジェクト＝9月にも案件具体化か
- ・阪神国際港湾 中期経営計画を策定＝東南アジア航路新設、施設整備等
- ・羽田空港 関東地整、補修工法決定＝C滑走路はCPG工法
- ・建設技術の開発助成＝国交省、公募開始
- ・横浜港 新港ふ頭9号岸壁の整備＝客船対応、31年春供用へ工事促進
- ・横浜港 防舷材や背後地整備＝大黒ふ頭29年度事業
- ・金沢港 大野地区13m航路浚渫＝29年度事業、南地区は陸上地盤改良
- ・川崎港 荷捌き地や荷役機械＝東扇島コンテナターミナル整備
- ・徳山下松港 国際物流ターミナルの設計進む＝大水深バース、年度内着工へ諸準備
- ・徳山下松港 新南陽処分場容量拡大＝地盤改良で圧密を促進
- ・八代港 年度内着工に向け設計等＝大型クルーズ船係留施設
- ・佐世保港 クルーズバースの設計＝岸壁はジャケット構造
- ・洋上風力 一般海域の導入促進へ＝長期占用、ルール化の必要性検討
- ・環境省 ゾーニングモデル選定＝洋上風力など6地域
- ・NEDO 施工技術の低コスト化へ＝洋上風力、委託公募、調査研究
- ・NEDO 海洋エネルギー利用検討＝離島地域、課題抽出
- ・横浜港埠頭 タイ港湾の低炭素化支援＝環境省委託事業、JCM活用

- ・四国地整 防災エキスパート認定式＝新たに5名総勢29名
- ・土木学会 国際会議開催へ組織委＝2019年アジア土木技術
- ・エルガード協会 特別講演会を開催＝根本教授、老朽化への対応
- ・土木学会 「土木アイ」を開設＝一般向けウェブサイト
- ・出入管理情報システム導入＝新潟港PSカード
- ・神戸港CTクレーン2基＝三井造船が受注

■平成29年4月17日号（第1542号）

- ・港湾整備事業 29年度8件で新規事業＝国際物流ターミナルやクルーズバース
- ・閣僚会議 省庁連携再エネAP策定＝洋上風力制度整備、SEP船検討
- ・政府 来春に次期海洋基計策定＝総合海洋政策本部会合
- ・閣議決定 漁業漁場整備長期計画＝目標設定、長寿命化、災害対応等
- ・首脳会談 スリランカ港湾で協力＝無償協力、民間投資も
- ・ビ文協 ビーチゲームズフェスティバル＝日本発、今後全国で取組
- ・ピア研 ホームページ立ち上げ＝26日フォーラム開催
- ・横浜港 裏込やレール基礎工など＝南本牧国際海上コンテナターミナル
- ・茨城港 今年度から築造工事＝常陸那珂港区12m岸壁
- ・新潟港 突堤本体と砂止工＝西海岸侵食対策事業
- ・29年度発注見通し＝関東地整、北陸地整、中部地整、近畿地整、中国地整
- ・神戸港 六甲アイランドで浚渫＝RC4・5、暫定水深15m確保
- ・大阪港 北港南航路附帯施設＝29年度事業WTO3件、基礎捨石等を推進
- ・鹿児島港 土質調査、詳細設計等＝臨港道鴨池中央港区線
- ・エネ庁 第2回MH海洋産出試験＝今月下旬から、1ヵ月連続生産へ
- ・深日港～洲本港航路＝今年度も社会実験へ
- ・国交省 物流施策大綱検討委＝港湾分野の政策提言等
- ・京都府 組織改正、港湾局新設＝舞鶴港の機能強化へ
- ・環境省 瀬戸内の環境調査結果＝沿岸府県、埋立状況等
- ・海洋資源開発支援事業＝海事局、6件交付決定

■平成29年4月10日号（第1541号）

- ・神戸港 臨港道路に事業化調整費＝湾岸道西伸部、今年度土質調査実施
- ・閣議決定 観光立国推進基本計画＝港湾・空港の取組拡充
- ・国交省・経産省 LNGバンカリング国際シンポ＝拠点整備、ネットワーク形成へ
- ・港湾局 シンガポール海事港湾庁と覚書＝港湾分野で相互協力
- ・港湾局 クルーズ補助事業を公募＝受入機能高度化の整備
- ・港湾局事務官4月1日付人事

- ・ 苫小牧港 目指す姿と取組の方向性＝管理組合、第2回長期構想検討委
- ・ 東京都 廃棄物などの埋立処分＝29年度からの改定計画
- ・ J E R A 五井火力更新アセス＝取水口新設で海域工事
- ・ 敦賀港 延伸整備に着手＝鞠山南地区岸壁
- ・ 29年度発注見通し＝東北地整、四国地整、九州地整
- ・ 大分港海岸 今年度から改良工事予定＝津留地区の整備から先行
- ・ 北九州港 新門司沖処分場Ⅱ期整備＝情報化施工法なども検討
- ・ 中部空港 2017年度取組方針＝2本目滑走路への期待
- ・ 港港研 生産性向上技術センター設立＝情報共有し目標実現へ
- ・ 各社トップの入社式訓示＝五洋建設、東洋建設、若築建設
- ・ 中部空港 新ターミナル整備着手へ＝10スポット、エプロン改良工事も
- ・ 酒田港 大型客船対応施設が完成＝東北初、16万t級受入可能に
- ・ 国交省 生産性革命プロジェクトの進捗確認＝クルーズ等、本部会合を開催
- ・ 関東地整 港湾技術等の実証試験＝公募開始、京浜港ドック活用
- ・ 洋上風力 一般海域占用の指針を＝経団連、国による整備要望
- ・ 東京湾再生官民フォーラム＝パブリックアクセス政策提案
- ・ 中国地整 入札・契約制度見直し＝WLB取組の施工など

■平成29年4月3日号（第1540号）

- ・ 港湾局 ICT活用工事を導入＝今年度、浚渫工、基準整備
- ・ 港湾局 4月1日付人事発令
- ・ 潜水協会等 潜水士の確保・育成へ＝関係6者、連携・協力協定を締結
- ・ 国交省 インフラ海外展開行動計画決定＝国際政策推進本部
- ・ 国交省・農水省 水門・陸閘の維持管理＝マニュアル策定へ議論
- ・ みなと総研 クルーズ総合研究所設立
- ・ 【特集】 倉敷みなと大橋開通＝川嶋中国地整副局長／伊原木岡山県知事
- ・ 千葉港 栄水門地盤改良を着手へ＝海岸事業、船橋地区高潮対策事業
- ・ 横浜港 新規ふ頭埋立＝環境配慮書提出
- ・ 東京港 軽易変更案作成＝旅客船2バース化
- ・ 名古屋港 中空沖に土砂処分場確保＝アセス方法書公告・縦覧
- ・ 那覇港 クルーズ需要に対応＝新港地区に連続バース
- ・ 那覇港 29年度に詳細設計へ＝臨港道路「若狭港町線」
- ・ 国交省 海外インフラ案件獲得へ＝港湾・空港地域別プロジェクトまとめ
- ・ 水島港 「倉敷みなと大橋」開通＝開通式典、祝賀行事開催
- ・ 大船渡港 湾口防波堤完成式典＝震災復旧、高さ2倍、11m確保
- ・ 函館港 臨港道路湾岸線供用＝全線開通式典開催

- ・福岡空港 民間運営の実施方針策定＝5月公募、運営権対価1,610億円以上
- ・西海市 洋上風力ゾーニング検討＝年度末まとめ、事業推進エリア等
- ・国交省環境行動計画＝一部改訂、目標値等

■平成29年3月27日号（第1539号）

- ・港湾局 堤外地の高潮災害対策＝第2回検討委、事前準備マニュアル
- ・潜水協会 後継者育成・技術伝承＝検討委員会、基本方針（案）提示
- ・航空局 R E S A対策の選定指針＝検討会開催、月内にまとめ
- ・東京湾再生 行動計画の中間評価公表＝水質改善の取組み推進
- ・国交省 物流施策大綱検討会＝策定へ要望事項を抽出
- ・洋上風況マップ公開＝N E D O、情報一元化
- ・秋田港 新たな土砂処分場具体化＝向浜地区、県が仮設ヤード造成
- ・むつ小川原港 東防波堤の本体製作＝災害復旧は29年度完了
- ・金沢港 鋼管矢板打設に着工＝無量寺岸壁再整備事業
- ・名古屋港 飛島ふ頭再編で初弾工＝水深15m耐震岸壁、土留護岸から先行
- ・下関港 西山岸壁の予防保全＝深層混合処理360本等
- ・博多港 水深15mコンテナ岸壁＝第2バースの設計業務へ
- ・羽田空港修補 工区毎の改良工法選定＝29年度半ばにも本施工へ
- ・東北地整 港湾BCPの実効性向上＝協議会開催、理解・定着の取組みを
- ・近畿地整 国際物流戦略チーム本部会合＝来年度荷主向けシステム実証
- ・関西戦略チーム 物流活性化モデル認定＝28年度4件、関空活用など
- ・マダガスカル トアマシナ港拡張計画＝円借款452億円
- ・N E D O ロシア風力協力＝オペレータ育成
- ・地盤工学会 発生土利用の方向性＝メディア懇、勝見京大教授
- ・国交省 技術基計、月内まとめ＝港湾等の研究開発方針
- ・GPS波浪計 事故調査・安全対策委＝全国で緊急点検も
- ・熊本地震報告会を開催＝4/22、地盤工学会
- ・インフラメンテ国民会議＝技術自治体マッチング、橋梁等

■平成29年3月20日号（第1538号）

- ・港湾分科会 小名浜港の改訂計画＝8港の一部変更を了承
- ・政府 港湾法改正案を閣議決定＝クルーズ協定制度創設等
- ・港湾局 29年度新規事業評価＝審議8件、全て適当と答申
- ・港湾局 港湾の中長期政策＝委員から意見聴取
- ・港湾局 薬注工法の対応方針検討＝埋立地改良、調査項目の標準化など
- ・港湾局 港湾工事積算基準改定＝歩掛新設、浚渫土ICT対応等

- ・港湾保安対策の強化へ＝6港で合同点検実施
- ・仙台塩釜港 ふ頭再編改良事業を了承＝仙台港区、岸壁延伸と背後埋立
- ・敦賀港 耐震強化岸壁位置づけ＝鞠山北D岸壁を先行整備
- ・京浜港 新たな行動計画決定＝物流高度化推進協議会
- ・西日本エリア 29年度新規事業候補＝国際物流ターミナルやクルーズ
- ・東予港 岸壁築造や浚渫が進捗＝カルシア改質も検討中
- ・四国地整 フェリー船等活用方策＝協議会とりまとめ
- ・関東地整 港湾新技術の早期実現へ＝京浜港ドック実証試験、29年度も公募
- ・日建連 海洋開発委員会が講演会＝最新の研究成果を報告
- ・日建連 羽田空港E滑走路を提案＝新整備場エリア、新国際線ターミナルの新設も
- ・石狩湾新港 農水産物輸出促進へ検討調査＝29年度新規制度活用を視野
- ・北陸地整・埋浚 港湾・空港の活性化＝29年度実施計画策定
- ・新潟県 表層型MHの冊子作成＝県内企業関連技術など
- ・航空局 訪日誘客支援空港を募集＝地方空港国際線就航拡大へ
- ・名古屋港、四日市港CT＝伊勢湾で港湾運営会社、5月設立へ
- ・中部空港 世界1位受賞＝顧客サービス等2部門

■平成29年3月13日号（第1537号）

- ・浚渫工 ICT活用、来年度試行工事＝国交省検討委、新基準類を整備
- ・建設発生土 官民マッチング7件実現＝国交省、浚渫土砂活用など
- ・日アセアン 港湾防災ガイドライン作成＝10月大臣会合で承認へ
- ・JAPIC 未来拓く新プロジェクト＝シンポ開催、具体化へ議論呼掛け
- ・スペイン財団 高橋重雄氏に土木工学賞＝日本人初、13日授賞式
- ・東北港湾 震災から6年間の歩み＝特設サイトで紹介
- ・小名浜港 岸壁最終工事を入札手続き＝東港地区、国際物流ターミナル整備事業
- ・横浜港 南本牧はま道路開通式＝関東地整、アクセス環境向上
- ・仙台塩釜港 4函の築造工事手続き＝雲雀野地区南防波堤
- ・那覇空港増設 埋立工事再開へ動き＝県が岩礁破碎更新許可
- ・博多港 臨港道路下部工を調達＝5基ずつ2件をWTO
- ・広島港 次期改訂に向け検討＝地域別部会で議論進む
- ・鹿島港 洋上風力事業者を公募＝丸紅撤退、340ha、6月頃選定へ
- ・RSOシンポ 航空政策の現状と展望＝日建連中間報告、羽田E滑走路建設構想
- ・スマートエネ 国際風力発電展開催＝洋上テーマ、東洋建設等
- ・JCI 新規助成制度採択、研究14件、意見交換会
- ・連絡会議 東北クルーズ振興拡大へ＝設立総会、フォーラム開催
- ・東亜建設工業 秋山社長、信頼回復誓う＝創立記念日、社是・三則の精神を

- ・レノバ等 秋田で洋上風力=560MW程度検討
- ・JICA ホニアラ空港改善FS=ソロモン無償資金協力へ
- ・日・キューバ 官民インフラ会議開催=国交省、28企業参加
- ・NEDO洋上風力=低コスト化・施工技術の調査研究

■平成29年3月6日号(第1536号)

- ・特定離島港湾 厳しい条件下で作業続く=南鳥岸壁は暫定供用段階
- ・港湾局 管理型処分場の利用高度化=手引き作成、二重管基礎杭工法の適用
- ・放置艇対策 アクションプラン作成=評価委まとめ、年度明けにも送付
- ・新規事業 採択時評価手続きに着手=港湾7件、海岸1件
- ・先導的官民連携事業=国交省、支援案件募集
- ・酒田港 14m岸壁延伸新設部着工=高砂ふ頭、国際物流ターミナル整備事業
- ・苫小牧港 商港水深9m岸壁改良=西港区、15m航路浚渫も促進
- ・金沢港 南地区岸壁改良着工=標準部の鋼管矢板施工
- ・石狩湾新港 都内で説明会開催=コンテナ5万個突破
- ・大分港海岸 護岸改良、新規事業化有望=計画段階評価示す、嵩上、液状化対策等
- ・浜田港 次期改訂に向け素案作り=沖合展開で物流機能強化
- ・近畿地整 大阪湾BCP推進協開催=凶上訓練結果の反映等
- ・神戸技調 海水交換で水質改善=堺泉北港で実証試験
- ・埋浚協会 うみの現場見学会開催=茨城大ら、埋立護岸、鋼板セル等
- ・第11回海の再生全国会議開催=東京湾の取組み事例報告
- ・港湾局 防波堤開放へ検討会開催=改定ガイドライン案まとめ
- ・港湾区域 洋上風力の構造審査=効率化へ骨子案策定
- ・国交省 民間50資格を新規登録=調査設計の品質確保へ
- ・みなと総研 助成制度の募集開始=港・海辺活動、調査研究
- ・東洋建設 福島モデル事業見学会=底質薄層浚渫システム
- ・エネ庁 MH海洋産出試験=4月上旬、1ヵ月連続

■平成29年2月27日号(第1535号)

- ・港湾局 発生土の広域移動体制検討=改正土対法、埋立地ニーズをマッチング
- ・国交省 物流施策大綱策定へ議論=有識者委設置、今夏に閣議決定
- ・国際物流 荷主向けウェブサイト実証へ=関西戦略チーム幹事会
- ・港湾入札 WLB推進、加点評価=29年度一部工事に導入
- ・クルーズ寄港回数実績=1月前期比1.8倍、全国93回
- ・釧路港、穀物輸入拠点=年度内に利用推進計画
- ・新千歳空港 国際線エプロンと誘導路=札幌開建、外国人旅行者受入強化

- ・酒田港 ヤード整備や荷役機械＝直轄岸壁延伸に対応
- ・八戸港 付帯施設と防波堤整備＝仮締切堤や本体築造手続
- ・釧路港 バルク港湾など紹介＝利用拡大セミナー開催
- ・志布志港 国際バルク港へ取組開始＝水深 16m岸壁を位置付け
- ・福岡空港 エプロン改良等を促進中＝ターミナル再編、誘導路の二重化
- ・博多港 クルーズ船受入強化＝栈橋 2 基をさらに追加
- ・関東地整ら 東扇島防災拠点で訓練実施＝管理運営、ヘリ夜間離着陸等
- ・山形県 洋上風力導入へ調査検討＝来年度予算、新規事業
- ・浮体式 五島市洋上風力発電事業＝戸田建設、環境アセス方法書縦覧
- ・釧路港 国際バルク戦略港湾＝ジャケット据付を公開
- ・中部地整 破碎瓦を港湾工事へ＝岸壁裏込材等に利用も
- ・舞鶴市等 東京でPRイベント開催＝歴史、クルーズ魅力等
- ・鹿島港 JICA研修生が視察＝鹿嶋、神栖市を訪問
- ・気象庁 波浪予測図改善（3/7～）＝三角波発生海域など追加
- ・国土政策報告会を開催＝若手技術者、研究成果
- ・佐賀大等 海洋エネ協力で4者協議＝日オランダ大学・企業
- ・拡張されたパナマ運河を見る（9）コロン港－カリブ海側の港湾－

■平成 29 年 2 月 20 日号（第 1534 号）

- ・藻場拡大へ ブルーカーボン研究会設立＝港湾・海域の温暖化対策
- ・JAPIC 研究会 新規プロジェクト構想提案＝重点推進 18 件、港湾核とした地方創生等
- ・港湾局 防波堤活用し、地方再生＝魚釣施設、ガイドライン再生へ
- ・港湾局等 放置艇対策の促進検討＝中間評価、有効施策等
- ・京浜港 新規北米航路 4 月開設＝集貨対策の成果現れ
- ・公共工事設計労務単価＝国交省、3.4%引き上げ
- ・JICA 研修員＝中部の港を視察
- ・伏富港 岸壁延伸本体工事に着手＝新湊地区国際物流ターミナル
- ・能代港 第二北防波堤築造工＝最終ケーソンの 2 函
- ・仙台塩釜港 海上地盤改良の手続き＝貞山地区水深 9 m 岸壁
- ・八代港 クルーズ船受入へ新岸壁＝水深 12m 延長 450m、29 年度から事業化へ
- ・清水港 クルーズ船受入強化＝専用バースの機能整備
- ・本部港 20 万 t 級クルーズ船＝岸壁延長 420m 確保
- ・りんかい日産 船舶レーダーモニタリングシステム実用化＝周辺航行動静を一元監視
- ・北九州港 洋上風力 5 MW 44 基設置へ＝九電みらい等コンソーシアム選定
- ・港湾局 みなとオアシス横浜港＝新規登録第 1 号

- ・みなとオアシス 82 施設を登録変更＝新制度、港湾局長が交付
- ・ビ文協 15 周年記念事業を実施＝砂浜海岸まち協議会等
- ・横浜市 フィリピン港湾庁と協力＝市が共同声明を発表
- ・国交省 交通運輸技術の公募＝維持管理等、新規 3 テーマ
- ・i-Con 組織 技術開発・導入WG 始動＝ニーズ・シーズの抽出へ
- ・みなと総研 みなとまちの民俗学＝情報投稿サイト立ち上げ
- ・拡張されたパナマ運河を見る（8）パナマ運河の太平洋側の港湾、バルボア港

■平成 29 年 2 月 13 日号（第 1533 号）

- ・港湾局 大規模仮設工の設計・施工＝安全性向上へ、今月下旬に指針策定
- ・国交省 北極海航路の利用促進へ＝官民会議、昨年実績、課題共有
- ・ゼロ国債 全国港別、事業費配分＝主要整備施設など
- ・ビ文協 ビーチの日制定、7/31＝海辺の通年活用浸透へ
- ・国交省 田中副大臣が横浜港視察＝南本牧CT、新港クルーズ等
- ・横浜港 港湾情報システム実証へ＝関東地整が検討会開催
- ・東京港 護岸地盤改良 2 件契約へ＝新海面Dブロックの整備促進
- ・秋田港 仮設ヤードを造成＝向浜地区土砂処分場
- ・川崎港 コンテナターミナル整備計画＝荷捌き地や荷役機械
- ・平良港 新クルーズバース計画＝延長 400m、32 年供用
- ・佐世保港 浦頭地区に突堤式岸壁＝三浦地区はバース延伸
- ・徳山下松港 新南陽処分場地盤改良＝圧密促進、浚渫土の投入も開始
- ・五洋建設・ソーキ 「ジオモニ II」 実用化へ＝海上構造物設置時の計測、画面に誘導ライン表示
- ・洋上風力 鳴門市沖合 50MW 検討＝適地抽出調査に着手
- ・長崎港活性化センターら 都内でポートセミナー開催＝更なる利用を呼びかけ
- ・新潟県 年度内にMH 活用構想＝海洋土木等、表層型の技術開発へ
- ・J S T 未来社会創造事業＝テーマ募集、海洋技術等
- ・高松港 出入管理情報システム導入＝重要港湾で初、朝日CT
- ・海事局 造船の生産性向上支援＝技術開発、補助事業を公募
- ・武澤東洋建設社長 出身地の中学校で講演＝世界に目を向けて
- ・MH I ヴェスタス 洋上風力 9 MW 級実証＝発電量、世界記録達成
- ・拡張されたパナマ運河を見る（7）アグアクララ展望台、ガツン湖、アクアクララ閘門

■平成 29 年 2 月 6 日号（第 1532 号）

- ・外航クルーズ 拠点形成港湾を 6 港選定＝国交省、官民連携で受入拡大へ
- ・i-Con 生産性向上へ 458 者参画＝異業種連携、コンソーシアム設立総会

- ・第3次補正予算 港湾関係 304 億円配分＝ゼロ国債、釧路港に 37 億円など
- ・ブルーカーボン 研究会設立・講演会 (2/10) ＝藻場拡大の枠組み構築へ
- ・港湾局 みなとオアシス促進＝運営要綱を策定
- ・LNGバンカリング拠点＝横浜で国際シンポ開催
- ・横須賀市 7号と5号の離岸堤築造＝侵食対策、野比と北下浦地区海岸
- ・小名浜港 改訂計画案を了承＝福島県が地港審開催
- ・伏富港 2月に覆砂試験工事＝富岩運河中島閘門下流
- ・高知港海岸 初弾の防波堤改良事業へ＝洗掘防止矢板や仮設道路
- ・北九州港 新門司沖処分場Ⅱ期＝今年半ばの着工に期待
- ・伊万里港 七ツ島地区臨港道整備＝来年度橋脚や桁製作検討
- ・石井大臣が視察 清水港日の出地区など＝クルーズ船受入環境整備、地元関係者とも意見交換
- ・国の管理空港 民間運営委託の取組推進＝高松・福岡等、仙台では活性化の兆し
- ・岡山県 水島港ポートセミナー＝更なる利用促進呼びかけ
- ・岩手県 ポートセミナー開催＝港湾が地域振興の核に
- ・港湾局 災害廃棄物の広域処理＝関係機関と検討開始へ
- ・日アセアン 日本発着クルーズ増へ＝国交省、魅力などPR
- ・JICA モロッコ調査船造船＝円借款 53 億円超に調印
- ・海事セミナー 日・ノルウェー協力強化＝川重作業船セレモニー
- ・日本海洋掘削 MH産出試験で契約＝2坑掘削、約 28 億円
- ・日本財団、海洋開発連携＝ノルウェー大学と覚書
- ・拡張されたパナマ運河を見る (6) パナマ運河庁その2

■平成 29 年 1 月 30 日号 (第 1531 号)

- ・埋立地改良 薬液注入工の適切な施工へ＝港湾局検討委設置、年度内に対応方針
- ・自民党港議連 首長から要望の声聴く＝港湾の整備・振興など
- ・港湾法 改正案 3月に国会提出＝クルーズ関連制度創設等
- ・国交省・環境省 船舶・港湾の低炭素化へ＝29 年度に新規補助事業
- ・港湾BCP 全国 76 港で策定済み＝災害に備えて検討促進
- ・安倍首相の施政演説＝港湾促進へ異例の言及
- ・JICA研修 港湾戦略運営コース＝14 カ国 18 名が参加
- ・東京港 4～6号函の入札手続き＝関東地整、臨港道路南北線整備
- ・茨城港 初弾のケーソン製作＝常陸那珂港区 12m岸壁
- ・釜石港 本体政策と据付入札＝湾口防波堤災害復旧
- ・大阪湾岸西神部 臨港道路に位置付けへ＝海上区間は港湾が有力
- ・大阪港 北港南航路付帯施設工事＝SCP地盤改良 2 件予定

- ・博多港 利用者 100 万人突破＝中央ふ頭クルーズセンター
- ・若築建設 土運船引付け装置を開発＝グラブ浚渫の汚濁防止
- ・港湾協会 ポートオブザイヤー2016＝酒田港が受賞、表彰式
- ・JWPA 自立電源目指して飛躍＝新春賀詞交歓会開催
- ・CNAC 全国フォーラム開催＝海辺の自然体験活動普及へ
- ・風力発電 2016 年導入量 19.5 万 kW＝今年洋上風力拡大に期待
- ・環境省 風力ゾーニング支援事業＝29 年度に 6 地域選定
- ・高松空港 民間委託へ 3 者絞込み＝ 8 月選定、30 年運営開始
- ・国交省 災害査定期間を大幅縮減＝早期復旧へ 29 年度から
- ・MH I ヴェリタス 8 MW 級 56 基受注＝ドイツ洋上風力事業向け
- ・拡張されたパナマ運河を見る（5）パナマ運河庁その 1

■平成 29 年 1 月 23 日号（第 1530 号）

- ・港湾局 港湾行政の方向性、施策提示＝重要港湾管理者等主幹課長会議
- ・自民党港議連 活動成果が予算に現れ＝港湾の整備・振興後押し
- ・港湾関係 5 団体 29 年賀詞交歓会＝各地域の港湾整備・振興
- ・コンテナ戦略港 東西の政策推進協開催＝情報共有、国際フィーダー網充実へ
- ・港湾局 2016 年クルーズ実績＝旅客、寄港回数過去最高
- ・川崎港特集 斜張橋下部工事を推進＝主要プロ、東扇島水江線整備等
- ・千葉港 水深 10m 岸壁改良着工＝葛南中央、コンクリ巻立て
- ・千葉港 蘇我火力発電配慮書＝平成 32 年に工事開始
- ・四国の港湾整備特集 備讃 瀬戸航路増深を促進＝高知港三里では三重防護
- ・広島港 宇品と海田地区の再編＝ふ頭改良、着工式典を開催
- ・四国地整 航路啓開の机上訓練＝災害時の海上輸送継続へ
- ・水産庁 漁港漁場整備長期計画＝年度内まとめ、基本方針見直しも
- ・漁港漁場技術開発戦略策定へ＝水産庁、年度内に
- ・国交省 モーダルシフト推進事業＝海上利用転換 6 件採択
- ・JOPCA 等 インドネシアセミナー開催＝JICA 研修修了生と連携密接に
- ・北陸の港湾 代替輸送「行動計画」策定＝大規模震災等、太平洋側機能を補完
- ・海事局 液化水素運搬の実証へ＝日豪で安全基準確認
- ・バリ海岸保全事業＝円借款供与 98 億円
- ・拡張されたパナマ運河を見る（4）ミラフローレンス閘門とビジターセンター

■平成 29 年 1 月 16 日号（第 1529 号）

- ・港湾局 堤外地高潮対策へ検討委＝29 年度にマニュアル策定
- ・丸川大臣 東京臨港道南北線を視察＝オリパラ成功へ整備重要

- ・石井大臣 ミャンマー、インドネシア訪問＝港湾・空港整備で協力を
- ・海洋政策本部 次期海洋基本計画の検討＝参与会議、来年度策定へ
- ・石井大臣、敦賀港視察＝鞠山北地区フェリーターミナルなど
- ・拡張されたパナマ運河を見る（3）パナマ運河ココリ閘門（第三閘門）
- ・東京港 新砂水門と辰巳排水機場＝海岸事業、再整備の大型工事
- ・関東地整 三菱横浜で沈埋函を初出渠＝臨港道路南北線海底トンネル
- ・金沢港 築造工事その1 手続＝南地区岸壁改良に着工
- ・東予港 30年度春共用へ促進＝航路等浚渫、岸壁築造
- ・和歌山下津港海岸 日方水門工事の手続きへ＝最大クラス津波にも対応
- ・福岡空港 国際エプロン新設へ＝貨物建屋移設後に本格化
- ・政府 観光インフラ整備プログラム策定＝クルーズ、空港機能強化等
- ・水産庁 29年度基盤整備事業 700億円＝ストマネ事業等を拡充
- ・海事局 海自生産性革命等を推進＝29年度予算案 100億円
- ・JST 29年度新規、未来社会創造事業＝海洋開発等、提案募集
- ・国総研 29年度新規課題 6件＝空港舗装点検・復旧等
- ・航空局 29年度の組織再編＝計画課、技術課設置
- ・高知港海岸 直轄工事区域の官報公示＝初弾工事の発注へ
- ・小松空港 活性化委を開催＝福井県の流動
- ・第一生命、洋上風力投資＝ドイツの事業に 35億円

■平成 29 年 1 月 2 日・9 日合併号（第 1528 号）

- ・新春のご挨拶 石井国土交通大臣
- ・新年のご挨拶 菊地港湾局長
- ・新年のご挨拶 佐藤航空局長
- ・港湾局 29 年度予算案 コンテナ戦略港湾に 766 億円＝クルーズ、バルク港湾も推進
- ・29 年度新規制度 農水産物輸出の基盤整備＝クルーズ旅客受入高度化
- ・石井大臣 生産性革命の前進の年へ＝29 年抱負、国際競争力の強化
- ・航空局 29 年度空整勘定 3891 億円＝羽田空港に 609 億円
- ・航空局 R E S A 検討会を開催＝対策検討へ指針策定
- ・航空局 訪日誘客支援空港認定へ＝29 年度創設、15 空港程度
- ・国交省 環境行動計画改定を審議＝港湾施策、温暖化対策等位置付け
- ・八幡浜港 港湾協力団体を指定＝全国初、官民連携促進
- ・資源エネ関係 29 年度予算案 8474 億円＝洋上風力、MH、海洋鉱物等
- ・NEDO 浮体風力の低コスト化へ＝要素技術開発に着手
- ・PSAJ 海の障害者設備指針＝港湾局・国総研が協力、今夏まとめ
- ・港湾関係 3 次補正予算＝ゼロ国債 304 億円等

- 中城湾港 クルーズ対応を検討＝航路幅員の確保など
- 新居浜港需要動向等＝次期改定視野に取組み